

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B1)

(11) 特許番号

特許第6709361号
(P6709361)

(45) 発行日 令和2年6月17日 (2020.6.17)

(24) 登録日 令和2年5月27日 (2020.5.27)

(51) Int. Cl. F 1
A O 1 K 27/00 (2006.01) A O 1 K 27/00 Z

請求項の数 1 (全 8 頁)

(21) 出願番号	特願2019-93269 (P2019-93269)	(73) 特許権者	519263420 广州杰威鎖具有限公司 中華人民共和国广州市海珠区江南大道南3 68号之10首層至三層
(22) 出願日	令和1年5月16日 (2019.5.16)		
審査請求日	令和1年5月21日 (2019.5.21)	(74) 代理人	718003500 鄒 静文
(31) 優先権主張番号	201910348807.7	(72) 発明者	王▲え▼珍 中華人民共和国广州市海珠区新港中路32 6号
(32) 優先日	平成31年4月28日 (2019.4.28)		
(33) 優先権主張国・地域又は機関	中国 (CN)		
早期審査対象出願		審査官	川野 汐音
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 大型犬用のチェーンロック

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

大型犬用のチェーンロックであって、主体を含み、前記主体の右側にはハンドルが回転できるように設置され、前記ハンドルの右端には取っ手が上下対称的に設置され、前記主体の中には巻き装置が設置され、前記主体と前記ハンドルとの間には引き動かしアンロック装置が設置され、前記ハンドルの中には回転アンロック装置が設置され、犬の散歩をする過程において、前記取っ手を手で掴むことができ、前記引き動かしアンロック装置を通して前記巻き装置をアンロックでき、また前記巻き装置によってチェーンの長さを調節でき、犬の牽引縄を柱に係留しようとする時、前記ハンドルを回転させることで、前記回転アンロック装置を始動でき、また前記取っ手をアンロックでき、前記取っ手を両側に向かって回転させ、そして柱にロックし、前記巻き装置は前記主体の中に設置されている巻きチャンバを含み、前記巻きチャンバの中には巻き輪が上下対称的に、且つ回転できるように設置され、前記チェーンが前記巻き輪に巻きついており、前記巻きチャンバの左壁には外部空間に連通している開口が設置され、前記チェーンの一端が前記開口を通して外部空間まで伸びており、且つ前記チェーンの一端には首輪が固定的に連結され、前記巻き輪の前後両側において前記巻きチャンバの前後壁に位置しているところにはローラチャンバが対称的に設置され、前記巻き輪の両端が前記ローラチャンバの中に伸びており、且つ前記巻き輪の両端には回転盤が固定的に連結され、前記回転盤のうち前記巻きチャンバに近接している側の円形面と前記ローラチャンバの内壁との間には捻りばねが固定的に連結され、前記回転盤の外円周面の中には外側へ開口した第一引っ掛かり溝が環状に配列されるよう

10

20

に設置され、

前記引き動かしアンロック装置は前記ローラチャンバの間に設置されているヒンジチャンバを含み、前記ヒンジチャンバの右側には引きロッドチャンバが連通するように設置され、前記引きロッドチャンバの中には引きロッドがスライドできるように設置され、前記引きロッドの左端にはヒンジロッドが上下対称的に、且つヒンジにより連結され、前記ヒンジロッドのうち前記引きロッドから離れている一端には前記第一引っ掛かり溝の中までスライドすることができる引っ掛かりブロックがヒンジにより連結され、前記引きロッドチャンバの右側には伸縮チャンバが連通するように設置され、前記伸縮チャンバの中には前記引きロッドの右端に固定的に連結されている伸縮板がスライドできるように設置され、前記伸縮板の右端と前記伸縮チャンバの右壁との間には圧縮ばねが固定的に連結され、前記伸縮板の右端面の中心には固定軸が固定的に設置され、前記ハンドルの中には引き動かしチャンバが前後に貫通するように設置され、前記引き動かしチャンバの中には引き動かし板がスライドできるように設置され、前記引き動かし板の中には回転ブロックチャンバが設置され、前記回転ブロックチャンバの中には前記固定軸の右端に固定的に連結されている回転ブロックが回転できるように設置され、

10

前記回転アンロック装置は前記引き動かしチャンバの左側に設置されている糸巻きチャンバを含み、前記糸巻きチャンバの中には巻き軸が回転できるように設置され、前記固定軸が前記巻き軸を貫通しており、且つ前記巻き軸とスプラインにより連結され、前記巻き軸には二本の引き糸が巻きつくように設置され、前記糸巻きチャンバの上下両壁には糸通し孔が対称的に、且つ連通するように設置され、前記ハンドルの右端面には開口が逆である反転チャンバが上下対称的に設置され、前記取っ手の左端が前記反転チャンバの前後壁に回転できるように連結され、前記取っ手の左端には第二引っ掛かり溝が設置され、前記反転チャンバの左壁には前記糸通し孔の右側に連通している引っ掛かりロッドチャンバが連通するように設置され、前記引っ掛かりロッドチャンバの中には引っ掛かりロッドがスライドできるように設置され、前記引っ掛かりロッドが前記第二引っ掛かり溝の中に滑り込んで前記取っ手を固定でき、前記引っ掛かりロッドの左端と前記引っ掛かりロッドチャンバの左壁との間には押圧ばねが固定的に連結され、前記引き糸が前記引っ掛かりロッドの左端に固定的に連結されていることを特徴とする大型犬用のチェーンロック。

20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

30

【0001】

本発明は錠前技術分野を取り上げて、具体的には大型犬用のチェーンロックである。

【背景技術】

【0002】

多くの犬好きな人は犬の散歩をすることが好きであるが、安全のために犬の体に牽引縄を付け、しかし、普通の牽引縄は長さを調整できなく、牽引縄を手に巻きつけることしかできなく、これは非常に危険であり、また時々犬を係留する時、普通の牽引縄であると縄を結ぶ方式だけを採用でき、しかもこの方式は面倒くさいだけでなく、犬に振り切られやすく、あまり強固でなく、そのため、大型犬用のチェーンロックが必要となり、本装置を通して縄を巻いてロックでき、また柱に巻きつけてロックする方式により本装置を柱に固定でき、信頼性が高い。

40

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】中国特許出願公開第102367719号明細書

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

本発明は大型犬用のチェーンロックを提供し、従来技術における上記欠点を解消することを目的とする。

50

【課題を解決するための手段】

【0005】

本発明の実施例の大型犬用のチェーンロックは、主体を含み、前記主体の右側にはハンドルが回転できるように設置され、前記ハンドルの右端には取っ手が上下対称的に設置され、前記主体の中には巻き装置が設置され、前記主体と前記ハンドルとの間には引き動かしアンロック装置が設置され、前記ハンドルの中には回転アンロック装置が設置され、犬の散歩をする過程において、前記取っ手を手で掴むことができ、前記引き動かしアンロック装置を通して前記巻き装置をアンロックでき、また前記巻き装置によってチェーンの長さを調節でき、犬の牽引縄を柱に係留しようとする時、前記ハンドルを回転させることで、前記回転アンロック装置を始動でき、また前記取っ手をアンロックでき、前記取っ手を両側に向かって翻転させ、そして柱にロックし、前記巻き装置は前記主体の中に設置されている巻きチャンバを含み、前記巻きチャンバの中には巻き輪が上下対称的に、且つ回転できるように設置され、前記チェーンが前記巻き輪に巻きついており、前記巻きチャンバの左壁には外部空間に連通している開口が設置され、前記チェーンの一端が前記開口を通して外部空間まで伸びており、且つ前記チェーンの一端には首輪が固定的に連結され、前記巻き輪の前後両側において前記巻きチャンバの前後壁に位置しているところにはローラチャンバが対称的に設置され、前記巻き輪の両端が前記ローラチャンバの中に伸びており、且つ前記巻き輪の両端には回転盤が固定的に連結され、前記回転盤のうち前記巻きチャンバに近接している側の円形面と前記ローラチャンバの内壁との間には捻りばねが固定的に連結され、前記回転盤の外円周面の中には外側へ開口した第一引っ掛かり溝が環状に配列されるように設置され、前記引き動かしアンロック装置により前記回転盤を固定し、前記捻りばねにより前記回転盤を回転させて復帰させる。

10

20

【0006】

更の技術プランとしては、前記引き動かしアンロック装置は前記ローラチャンバの間に設置されているヒンジチャンバを含み、前記ヒンジチャンバの右側には引きロッドチャンバが連通するように設置され、前記引きロッドチャンバの中には引きロッドがスライドできるように設置され、前記引きロッドの左端にはヒンジロッドが上下対称的に、且つヒンジにより連結され、前記ヒンジロッドのうち前記引きロッドから離れている一端には前記第一引っ掛かり溝の中までスライドすることができる引っ掛かりブロックがヒンジにより連結され、前記引きロッドチャンバの右側には伸縮チャンバが連通するように設置され、前記伸縮チャンバの中には前記引きロッドの右端に固定的に連結されている伸縮板がスライドできるように設置され、前記伸縮板の右端と前記伸縮チャンバの右壁との間には圧縮ばねが固定的に連結され、前記伸縮板の右端面の中心には固定軸が固定的に設置され、前記ハンドルの中には引き動かしチャンバが前後に貫通するように設置され、前記引き動かしチャンバの中には引き動かし板がスライドできるように設置され、前記引き動かし板の中には回転ブロックチャンバが設置され、前記回転ブロックチャンバの中には前記固定軸の右端に固定的に連結されている回転ブロックが回転できるように設置され、前記引き動かし板を引き動かすと、前記固定軸により前記伸縮板を引き動かすことができ、前記回転盤をアンロックする。

30

【0007】

更の技術プランとしては、前記回転アンロック装置は前記引き動かしチャンバの左側に設置されている糸巻きチャンバを含み、前記糸巻きチャンバの中には巻き軸が回転できるように設置され、前記固定軸が前記巻き軸を貫通しており、且つ前記巻き軸とスプラインにより連結され、前記巻き軸には二本の引き糸が巻きつくように設置され、前記糸巻きチャンバの上下両壁には糸通し孔が対称的に、且つ連通するように設置され、前記ハンドルの右端面には開口が逆である反転チャンバが上下対称的に設置され、前記取っ手の左端が前記反転チャンバの前後壁に回転できるように連結され、前記取っ手の左端には第二引っ掛かり溝が設置され、前記反転チャンバの左壁には前記糸通し孔の右側に連通している引っ掛かりロッドチャンバが連通するように設置され、前記引っ掛かりロッドチャンバの中には引っ掛かりロッドがスライドできるように設置され、前記引っ掛かりロッドが前記第二

40

50

引っ掛かり溝の中に滑り込んで前記取っ手を固定でき、前記引っ掛かりロッドの左端と前記引っ掛かりロッドチャンバの左壁との間には押圧ばねが固定的に連結され、前記引き糸が前記引っ掛かりロッドの左端に固定的に連結され、前記引き糸が前記引っ掛かりロッドを引き動かして左方へ移動させて第二引っ掛かり溝から出し、また前記取っ手をアンロックする。

【発明の効果】

【0008】

本発明の有益効果は：本発明は構成が簡単で、操作が便利で、本装置により牽引縄の長さを調節でき、犬の活動範囲を制御し、同時に、犬を係留する時、快速に本装置を柱などのところにつなぐことができ、且つ犬に振り切られにくい。

10

【図面の簡単な説明】

【0009】

下記に図1～5をあわせて本発明について詳しく説明し、便利に説明するために、下記の方法を以下のように規定する：図1は本発明装置の正面図であり、以下に述べる上下左右前後の方向と図1の自身投影関係の上下左右前後の方向とが一致である。

【0010】

【図1】図1は本発明の大型犬用のチェーンロックの内部全体構成模式図

【図2】図2は図1の中の「A-A」方向の構成模式図

【図3】図3は図2の中の「B-B」方向の構成模式図

【図4】図4は図1の中の「C」の拡大模式図

20

【図5】図5は図1の中の「D」の拡大模式図

【発明を実施するための形態】

【0011】

図1～5を参照し、本発明の実施例の大型犬用のチェーンロックは、主体11を含み、前記主体11の右側にはハンドル12が回転できるように設置され、前記ハンドル12の右端には取っ手13が上下対称的に設置され、前記主体11の中には巻き装置101が設置され、前記主体11と前記ハンドル12の間には引き動かしアンロック装置102が設置され、前記ハンドル12の中には回転アンロック装置103が設置され、犬の散歩をする過程において、前記取っ手13を手で掴むことができ、前記引き動かしアンロック装置102を通して前記巻き装置101をアンロックでき、また前記巻き装置101によってチェーン16の長さを調節でき、犬の牽引縄を柱に係留しようとする時、前記ハンドル12を回転させることで、前記回転アンロック装置103を始動でき、また前記取っ手13をアンロックでき、前記取っ手13を両側に向かって翻転させ、そして柱にロックし、前記巻き装置101は前記主体11の中に設置されている巻きチャンバ14を含み、前記巻きチャンバ14の中には巻き輪15が上下対称的に、且つ回転できるように設置され、前記チェーン16が前記巻き輪15に巻きついており、前記巻きチャンバ14の左壁には外部空間に連通している開口17が設置され、前記チェーン16の一端が前記開口17を通して外部空間まで伸びており、且つ前記チェーン16の一端には首輪18が固定的に連結され、前記巻き輪15の前後両側において前記巻きチャンバ14の前後壁に位置しているところにはローラチャンバ19が対称的に設置され、前記巻き輪15の両端が前記ローラチャンバ19の中に伸びており、且つ前記巻き輪15の両端には回転盤20が固定的に連結され、前記回転盤20のうち前記巻きチャンバ14に近接している側の円形面と前記ローラチャンバ19の内壁との間には捻りばね21が固定的に連結され、前記回転盤20の外円周面の中には外側へ開口した第一引っ掛かり溝22が環状に配列されるように設置され、前記引き動かしアンロック装置102により前記回転盤20を固定し、前記捻りばね21により前記回転盤20を回転させて復帰させる。

30

40

【0012】

有益的には、前記引き動かしアンロック装置102は前記ローラチャンバ19の間に設置されているヒンジチャンバ23を含み、前記ヒンジチャンバ23の右側には引きロッドチャンバ27が連通するように設置され、前記引きロッドチャンバ27の中には引きロッド

50

24がスライドできるように設置され、前記引きロッド24の左端にはヒンジロッド25が上下対称的に、且つヒンジにより連結され、前記ヒンジロッド25のうち前記引きロッド24から離れている一端には前記第一引っ掛かり溝22の中までスライドすることができる引っ掛かりブロック26がヒンジにより連結され、前記引きロッドチャンバ27の右側には伸縮チャンバ28が連通するように設置され、前記伸縮チャンバ28の中には前記引きロッド24の右端に固定的に連結されている伸縮板29がスライドできるように設置され、前記伸縮板29の右端と前記伸縮チャンバ28の右壁との間には圧縮ばね30が固定的に連結され、前記伸縮板29の右端面の中心には固定軸31が固定的に設置され、前記ハンドル12の中には引き動かしチャンバ32が前後に貫通するように設置され、前記引き動かしチャンバ32の中には引き動かし板33がスライドできるように設置され、前記引き動かし板33の中には回転ブロックチャンバ34が設置され、前記回転ブロックチャンバ34の中には前記固定軸31の右端に固定的に連結されている回転ブロック35が回転できるように設置され、前記引き動かし板33を引き動かすと、前記固定軸31により前記伸縮板29を引き動かすことができ、前記回転盤20をアンロックする。

10

【0013】

有益的には、前記回転アンロック装置103は前記引き動かしチャンバ32の左側に設置されている糸巻きチャンバ36を含み、前記糸巻きチャンバ36の中には巻き軸37が回転できるように設置され、前記固定軸31が前記巻き軸37を貫通しており、且つ前記巻き軸37とスプラインにより連結され、前記巻き軸37には二本の引き糸38が巻きつくように設置され、前記糸巻きチャンバ36の上下両壁には糸通し孔39が対称的に、且つ連通するように設置され、前記ハンドル12の右端面には開口が逆である反転チャンバ40が上下対称的に設置され、前記取っ手13の左端が前記反転チャンバ40の前後壁に回転できるように連結され、前記取っ手13の左端には第二引っ掛かり溝41が設置され、前記反転チャンバ40の左壁には前記糸通し孔39の右側に連通している引っ掛かりロッドチャンバ42が連通するように設置され、前記引っ掛かりロッドチャンバ42の中には引っ掛かりロッド43がスライドできるように設置され、前記引っ掛かりロッド43が前記第二引っ掛かり溝41の中に滑り込んで前記取っ手13を固定でき、前記引っ掛かりロッド43の左端と前記引っ掛かりロッドチャンバ42の左壁との間には押圧ばね44が固定的に連結され、前記引き糸38が前記引っ掛かりロッド43の左端に固定的に連結され、前記引き糸38が前記引っ掛かりロッド43を引き動かして左方へ移動させて第二引っ掛かり溝41から出し、また前記取っ手13をアンロックする。

20

30

【0014】

初期状態において、主体11がハンドル12と同じ水平面に位置しており、引っ掛かりブロック26が第一引っ掛かり溝22の中に引っ掛かり、引っ掛かりロッド43が第二引っ掛かり溝41の中に引っ掛かっている。

【0015】

チェーン16の長さを調節する時、引き動かし板33を右側へ引き、回転ブロック35と固定軸31により伸縮板29と引きロッド24とを連動させて右側へ移動させ、ヒンジロッド25により上下両側の引っ掛かりブロック26を連動させて向き合って移動させ、これにより上下両側の引っ掛かりブロック26が第一引っ掛かり溝22から滑り出て、この時、手でチェーン16を所要の長さまで引き、引き動かし板33を放し、引っ掛かりブロック26が再び対応した第一引っ掛かり溝22の中に引っ掛かり、犬の牽引縄を柱またはテーブルの脚などのところに係留する時、ハンドル12を回転させ、この時、引き糸38が引き締まった状態にあり、また引っ掛かりロッド43を引き動かして左側へ移動させて第二引っ掛かり溝41から出し、この時、ハンドル13を両側へ反転させることができ、そして本発明装置を柱またはテーブルの脚に巻きつけ、またハンドル13を復帰させる。

40

【0016】

本発明の有益効果は：本発明は構成が簡単で、操作が便利で、本装置により牽引縄の長さを調節でき、犬の活動範囲を制御し、同時に、犬を係留する時、快速に本装置を柱などのところにつなぐことができ、且つ犬に振り切られにくい。

50

【0017】

本分野の技術者が明確できるのは、本発明の総体精神や発想から離脱しない場合で、以上の実施例に各種な変形ができ、それらの変形がすべて本発明の保護範囲にある。本発明の保護方案は本発明の権利要求書を標準とすべきである。

【要約】

【課題】本発明は大型犬用のチェーンロックを開示した。

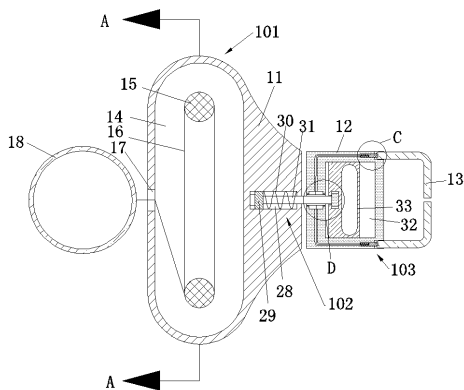
【解決手段】

主体を含み、前記主体の右側にはハンドルが回転できるように設置され、前記ハンドルの右端には反転できる取っ手が上下対称的に設置され、前記主体の中には巻き装置が設置され、前記主体と前記ハンドルとの間には引き動かしアンロック装置が設置され、前記ハンドルの中には回転アンロック装置が設置され、本装置により牽引縄の長さを調節でき、犬の活動範囲を制御し、同時に、犬を係留する時、快速に本装置を柱などのところにつなぐことができ、且つ犬に振り切られにくい。

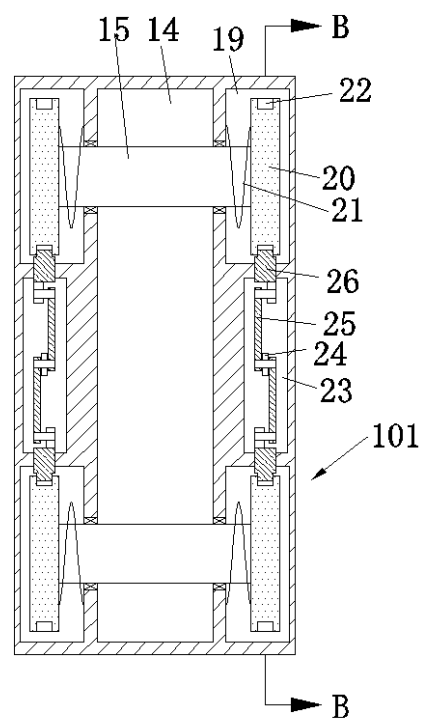
10

【選択図】 図1

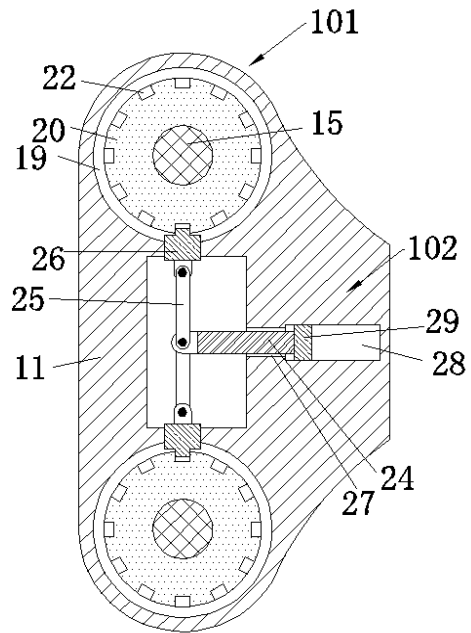
【図1】



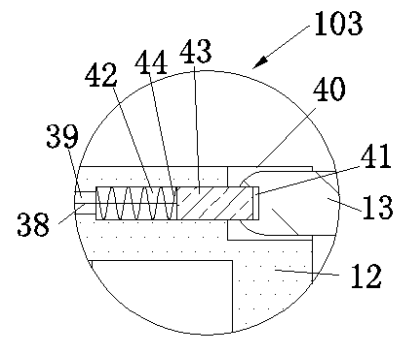
【図2】



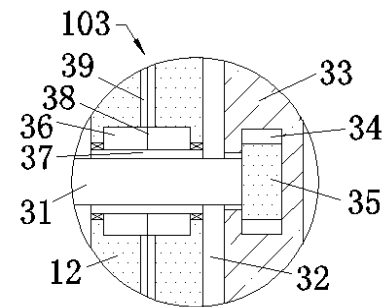
【図 3】



【図 4】



【図 5】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2016-214140 (JP, A)
特表2013-510568 (JP, A)
米国特許出願公開第2017/0079245 (US, A1)
米国特許出願公開第2015/0075447 (US, A1)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A01K 27/00